

★実技講習会とは？

この講習会は、道路の線形・設計に携わる初級者を対象に、3日間にわたり「平面交差の計画と設計」をテーマに講義および演習を行い、毎年、コンサルタント会社、測量会社、自治体、国土交通省国道事務所等からご参加いただいております。

定員 30 人という少人数制で、演習の際には経験豊富な技術者によるきめ細かな個別指導を特色としており、毎年ご好評をいただいております。

少人数制をとっていることから、質問にも個別対応が可能ですので、平面交差の計画と設計にじっくり取り組みたい方にお奨めいたします。

★講習概要

第 1 日目（9：30～17：30）

幾何構造、交通容量、交通運用について講義形式で、基本事項について分かりやすく解説します。

第 2 日目・第 3 日目（9：00～17：00）

演習課題に取り組んでいただきます。

与えられる条件は、実際に設計を行う場合と同じ設計条件にしてあり、官民境界線のみが描かれた図面と、設計の対象となる交通量（方向別の設計交通量）の 2 つです。

この条件に基づいて容量の計算、設計交通量を処理することのできる設計案を作成して、実際に図面化します。

3 日間の講習の最後に、参加者全員に対して設計上のキーポイント、留意点、誤りやすい点などの解説を交えて講評が行われます。併せて参加者が作成した設計成果を各自で見直すことができるように、模範解答例を図面とともにお渡しします。これは実際の設計の成果品になり得るもので、参加者にとっては最終の形を理解することができるようになっております。

実技講習会風景



講 義



演 習